

プログラムリスト

下記のリストから**2つ**のプログラムを組み合わせで実施します

- 子どもたちの興味・関心、学習の進度にあわせて、適当なプログラムをお選びください。
- 対象や内容をよくご確認のうえお選びください。

※プログラム内容により、2グループに分け、入れ替え制をとります。
※人数によっては、ご希望のプログラムを実施できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

鑑賞	表現	体験
1. おしゃべりグループ鑑賞 場所 常設展示室 時間 20～30分 対象 全学年 内容 鑑賞リーダー（美術館ボランティア）とともに、対話をしながらグループで鑑賞する。	1. びじゅつトーク！ 場所 ワークショップルーム 時間 10～30分 対象 全学年 内容 鑑賞後にディスカッション（学校主体）を行い、自分の見方や感じ方を言葉で表現する。	1. さわれる美術館 場所 ワークショップルーム 時間 20～30分 対象 全学年 内容 日本画や油彩画の材料や用具をそろえた特製の画材キットを実際にさわってみる。
2. のびのび自由鑑賞 場所 常設展示室 時間 20～30分 対象 小学校高学年～ 内容 ワークシート（学校作成）をもとに、個人で鑑賞する。	2. ぼく・わたしの美術館 場所 ワークショップルーム 時間 20～30分 対象 全学年 内容 千葉市美術館所蔵品のアートカードを使い、ゲームや展覧会計画などアクティビティを行う。	2. 美術館探検隊 場所 美術館全体 時間 30分 対象 全学年 内容 美術館内の展示室や図書室、さや堂ホールなどを見学する。
3. アートの生まれるばしょ 場所 子どもアトリエ 時間 20～30分 対象 全学年 内容 参加型・体験型のアート作品を鑑賞、体験する。	3. きみもアーティスト！ 場所 ワークショップルーム 時間 20～30分 対象 全学年 内容 千葉市美術館所蔵品に関連するワークショップ（木版画体験、岩絵具体験など）を行う。	3. よむよむびじゅつ 場所 図書室 時間 20分 対象 未就学児～小学校低学年 内容 美術、あるいは開催中の展覧会に関連する絵本などの読み聞かせを行う。

組み合わせ例

こんな組み合わせで、こんな鑑賞教育ができます

／低学年～向け／

はじめての美術館を楽しもう

美術館探検隊 + アートの生まれるばしょ

〈ねらい〉

美術館という場所を知り、楽しく鑑賞したり体験したりする

〈内容〉

「美術館へ行くのははじめて」という子どもたちにぴったりのプログラムです。見学ツアーを通して美術館という場所を知り、参加型のアート作品では楽しく美術にふれあいます。



写真：栗原 諭



／低学年～向け／

美術をきっかけに世界を広げよう

美術館探検隊 + ぼく・わたしの美術館

〈ねらい〉

美術の入口に立ち、自分の見方や感じ方を広げる

〈内容〉

美術館の機能や役割を通して、美術を身近に感じられるプログラムです。アートカードを使ったアクティビティでは、気軽に楽しく美術とかわることが出来ます。



／中学年～向け／

手や体を動かして美術を体験しよう

アートの生まれるばしょ + きみもアーティスト！

〈ねらい〉

実際に手や体を動かし、体験として美術を楽しむ

〈内容〉

「美術館は作品を静かに見る場所」というイメージを払拭し、手や体をつかった体験として美術を楽しみます。新設スペースを堪能できるプログラムです。



／中学年～向け／

造形に注目して美術を学ぼう

おしゃべりグループ鑑賞 + きみもアーティスト！

〈ねらい〉

鑑賞活動と表現活動を組み合わせ、造形的な視点を養う

〈内容〉

常設展示室に展示されている版画や日本画にまつわるワークショップ（版画体験や岩絵具体験）を行うことで、造形的な視点から美術を楽しむことができます。



／高学年～向け／

美術を多角的に楽しもう

のびのび自由鑑賞 + さわれる美術館

〈ねらい〉

材料や用具を活用し、美術への理解を深める

〈内容〉

作品そのものだけでなく、作品を構成する材料や用具にまで目を向けることで、美術のおもしろさをより感じられるプログラムです。知識と鑑賞をかけあわせ、多角的に美術を楽しむことができます。

／高学年～向け／

気づきや考えを言葉にしてみよう

おしゃべりグループ鑑賞 + びじゅつトーク！

〈ねらい〉

言語活動の充実をはかり、自分の見方や感じ方を深める

〈内容〉

鑑賞リーダーとともに自分の考えや感じたことについて対話しながら鑑賞したのちに、トークでさらに広く共有したり考えをまとめたりすることで、よりいっそう思考を深めることができます。